

第 29 回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

【発表No. CO4】

論文No.	CO4
タイトル	成熟した大都市で基盤施設を整備する上での課題と対応策について
所属・名前	独立行政法人都市再生機構 仁保 夏妃 独立行政法人都市再生機構 海老原 竜司 独立行政法人都市再生機構 関 悟志
キーワード	① 再開発事業 ② 都市基盤整備 ③ 官民一体な都市空間の創出
<p>大手町地区は、かつては国の機関が立ち並ぶ歴史ある地区であり、現在では日本経済の中枢として重要な機能を担う企業のビジネス拠点となっている。このような歴史ある、かつ成熟した大都市が迎えた機能更新期に、再開発の手法を用いて新たな都市の整備を行った。地下ネットワークが発達している大都市の大手町であるが、その周辺は日本橋川等に囲まれ、他地区との交流が難しい立地にある。そのような問題に対し、基盤整備（橋梁・地下通路）と再開発地区内の公開空地（セントラルプロムナード）を一体的に整備し、新たな導線の創出と次世代都市モデルの実現に取り組んでいる。その事例を紹介するとともに、橋梁工事を事例とし、大都市での基盤整備の課題から解決までを記述する。</p>	